
「Brain-Heart Conference を通じた潜因性脳梗塞に対する ICM(Insertable Cardiac Monitor)の植え込みに関する検討」に関するお知らせ

このたび、電子カルテ情報と施行した症例データを用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2021年6月1日～2023年8月31日の期間に、Brain-Heart Conference を通じて ICM(Insertable Cardiac Monitor)の植え込みを施行した患者さんを対象としています。

2. 研究の目的

ICM 植込み後の心房細動検出率を調べることで Brain-Heart Conference (埼玉医科大学国際医療センターでは、原因不明の脳梗塞発症患者さん(潜因性脳梗塞)に関して、心臓内科・脳卒中内科・脳血管内治療科が連携して、心原性脳梗塞(心房細動などの不整脈、心臓病を塞栓源とする脳梗塞)が疑わしい患者さんを見つけることを目的とした定期的開催の症例検討会)の有用性を検討することが目的です。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から約1ヶ月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

電子カルテ上の情報を用いて臨床データと植え込みデバイスの情報を使用いたします。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医大国際医療センターにおいて、研究責任者である松本 和久が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

潜在性脳梗塞に対して ICM 植込みを施行した患者さんの診療記録、治療時のデータを用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/助教 氏名 松本 和久

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 氏名 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科（担当者氏名） 松本和久

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：Brain-Heart Conference を通じた潜在性脳梗塞に対する ICM の植え込みに関する検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科（担当者氏名） 松本和久